

## 平成29年度 第1回 山梨県立美術館協議会 会議結果記録

日 時： 平成29年10月6日（金） 午後2時～3時40分

場 所： 県立美術館講堂

参加者：

- 委員 堀内正基、塩島明美、古屋知子、手塚義彦、高野孫左右衛門、辻村和人、  
武藤正美、日比野理津子、渡辺弥生、野中るみ子、斉木邦彦
- 県教育委員会 若林教育次長、百瀬学術文化財課長、海老根学術文化財課主任
- 県立美術館 上島副館長、古屋次長、井澤学芸幹、望月総務担当リーダー、  
平林学芸担当リーダー、高野普及担当リーダー、  
五味普及担当主査・教育主事
- 指定管理者 岩野SPSやまなし支配人、高橋SPSやまなし副支配人

議事

- 1 平成28年度事業報告等について
- 2 平成29年度事業報告及び予定等について
- 3 その他

司会 上島副館長

議事録

県教育委員会教育次長挨拶  
会長挨拶  
事務局職員紹介

○事務局から会議資料により、議事（1）、（2）を説明

○議長

ただいま、事務局から、議事の（1）、（2）について説明がありました。質問、意見などありましたらお願いします。

○A委員

特別展の各観覧者実績ですが、観覧者数は、招待券とか65歳以上の無料の方とかを含めた人数か。65歳以上が無料になっているがサービスのしすぎではないか。東京都の美術館は高齢者も観覧料を払っている所が多い。むしろ20代、30代にもっと来て頂きたいと思うので、若い人を対象にした割引の料金体系も考えていただければと思っております。

○事務局

観覧料につきましては、本県では高齢者は65歳以上を、また、小中高生も免除にしております。高齢者の観覧料の免除につきましては、委員と反対の意見もありまして、今後の

検討課題だと考えています。

○B委員

今後の検討課題であることを承知で伺いたい。山梨県立美術館としては、どういう人たちにどういう価値を提供していこうかというビジョンがあると思うんですが、公共の場ということで色々な方の意見があるかもしれないですけども、そういう中で今、課題として検討する方向性ってどういうものなのですか。

○事務局

県立美術館ということなので、小中高生、シルバー層、それから当然働き盛りの若い層にも幅広く来ていただきたい。多くの県民に観覧していただきたいということで、シルバーの方や小中高生の無料化をしてきたところです。また、働き盛りの若い層には、展示内容を工夫することで集客を図っていききたい。

○C委員

ミレーの「落ち穂ひろい 夏」が今、里帰りしています。里帰りしているのですけれども、わからずに来館しているお客様がいらっしゃるんですね。わざわざここまで来たのに残念だったということや、すごくがっかりしたっていう言葉を聞くんです。たぶん甲府駅等でどこにも掲示がないと思うのですけれども。山梨県の窓口の甲府駅とか、バスターミナル等に、展示して無いという掲示をした方が良いと思います。ミレーの「落ち穂ひろい」に関しては一年を通して観ることができるというのが県立美術館のよいところだと思って訪れる方が多いので、やっぱりミレーの作品が外に貸し出される時は広報検討することはできないのでしょうか。

○事務局

絵が展示されていないという広報を、周囲にはたらきかけることは承知していましたが、予算の問題もあり、観光業者には早めに連絡していましたが、積極的にいろいろなところに紙媒体で広報することができなかった。しかし、ホームページでの紹介と、今回ホームページを見ずにご来館いただいた方がいらっしゃるのので、テレビや新聞等の報道に取り上げてもらい、多くの方に目に触れる機会を持ちたいということで大きく報じてもらうことになりました。

○事務局

甲府駅の掲示は有料でございますので、そういったご案内を行うことは困難ですが、館内のチケットのところのご案内、提示ということはできるのかと思います。そこは指定管理者の方で確認し相談しながら対応していきたいと思いました。

○D委員

非常に熱心に様々な事業を工夫しながら展開されていて感心いたしました。感謝申し上げます。

学校との連携というところで11ページ12ページの資料の内容をちょっと見させていただきますと、11ページの方には今年の今年度の数が載っていますけれども、学校数は延べ数でしょうかね、同じ学校が何回かきているということですかね。すべて把握しているということだと思のですが、山梨県の小中学校は全部で270校ほどありますので、せつかくこういうすばらしい施設があるということですので、学校との博学連携からも是非周知の方をさらに充実していただければ有り難いと思います。それが1点です。それから2点目ですけれども、先ほど高齢者の話が出ましたけれども、いずれ人生90年、100年時代そういう時代になりますので、是非その辺のところも何か充実を図っていただければ有り難いと思います。

#### ○E委員

常設や特別展両方に力を入れていると思った。常設展にはミレーの作品があることも力強い。

今日は甲府駅からバスで来たのですが、甲府駅前美術館行きのバス停を探すのに苦労した。駅の掲示板に博物館のマークが付いていて、そのマークが美術館行きのマークだと知っているのなら良いが、1番乗り場のバスにも、どのバスが美術館に行くバスか表示されていたらさらに良いと思いました。

#### ○F委員

ボランティアとして直に来ていただくお客様と接しているんですけども、先ほど「落ち穂ひろい 夏」が外に行っているのがわからないとおっしゃいましたが、私はお客様の対面していて、ニュースで見たからわざわざ来館した人が何名もいて、美術館の方々の一生懸命さというか周知ができていて嬉しいことだと感じました。今、色々な説明を見せていただきまして、色々な意味の、色々なことを、色々な協力や努力をしてみなさんが一生懸命やっている姿に感動しすぎたと思わせていただきました。今日、ここに来させていただきまして、改めて美術館に協力させていただいていることを嬉しく思いました。

#### ○G委員

私は夏の終わり9月に入った頃なのですが、親戚の者が参りまして観させていただきました。コレクション展の方を観たのですが、なぜなぜ美術館が大変興味深く、楽しく、親戚の者もみな大人ばかりだったんですけども、大人が観ても面白いなと思いました。子どもが観てもそんなに難しくなく、とてもいい企画だなと感じました。こういうことを。その時その時に変えてやって頂くとリピーターだったり、色々な呼び込みにもなったりするのかなと感じました。付け加えてですけれども、その時に受付のところで、県内の宿泊施設の利用で割り引いていただいて、ちょっと嬉しい気持ちになりました。県外の方ももっとたくさん来ていただけるといいなと感じました。学校現場の利用ですけれども、なかなか学校の現場は色々ところでやらなければならないことがたくさんあります。たとえば甲府市内や、バスが自由に使えるところは来られるのですが、郡内等はなかなか難しい部分があります。やはりこういうことでご高齢者の来館ということも大切だと思いますので、また現場の方でも努力をして美術館に来られる工夫が必要なのではないかと思いました。

○議長

その他に意見があるでしょうか。

では、次の「3 その他」ですが。事務局から何かあるでしょうか。

○事務局

平成29年11月から、国土交通省関東整備局甲府河川国道事務所が芸術の森公園第1駐車場北側の、波打ち歩道（水路）の改良工事及び芸術の森公園北側に歩道設置を行う工事を実施すること並びにイチョウの木を剪定することから、景観が変更になることを説明。

○議長

他には意見ございませんでしょうか。では全体を通してなにかご質問ご意見ございましたらお願い致します。

○H委員

社会教育委員の代表としての参加しているのですが、社会教育委員の実践活動としましてはなかなか数字に出てきません。出すというのは難しいことなのですが、今後、私どもとしても社会教育の公民館活動で絵画をしている方もいますし、そういうところで積極的に美術館の普及事業やイベントなどなんらかの形で周知したいと思っています。あと1点はミレーの画が外国へ里帰りしているということでしたが、こういうことは事前にもしわかることがあれば教えて頂きたいと思います。次回の特別展の狩野芳崖の絵も借りてくるということで、見たい絵がある場合に貸し出されているとさみしい思いをしているということがありますけれども、先日は国立美術館から幾つか名画が来て、私どもは地方にいたのでなかなか観る機会がありませんので非常によかったと思っておりますけれども、作品の交流計画があったら事前に教えて頂きたいのと同時に、相手の美術館はどのように対応しているのか知りたいと思います。

○事務局

交流計画ですが、お互い作品の貸し借りというのは、やはり展覧会を企画していく中で交渉してまいりますので、その時に必要な作品を持っている館とのお付き合いになります。日本で言いますと少し前ですと大蔵集古館展を開催しましたが、その館から名品を貸していただくということになります。その都度、その都度、展覧会を企画していく中で、交渉の仕方は違うんですけれども、そのような進め方しております。

○議長

ありがとうございました。では、今日出ました貴重なご意見はぜひ館長にも伝えて頂いて、ぜひ検討して頂きたいと思います。では、以上で終了したいと思います。ご協力ありがとうございました。